

2027 年度日本中央競馬会畜産振興事業の公募テーマ及び応募区分

1. 公募する事業のテーマ

- (1) 畜産物の生産・流通対策
- (2) 国産飼料の生産・流通・利用の対策
- (3) 労働力・担い手の確保（特定の地域における担い手の確保を含む。）
- (4) 経営改善の助長・支援
- (5) 多様な形質の家畜改良と効率的な飼養管理技術の普及
- (6) 畜産に係る環境問題の対策
- (7) 家畜衛生の向上のための対策
- (8) その他畜産振興に資するもの

2. 応募区分

ア) 重点項目

国等が実施している畜産関連施策の補完効果が高い事業内容であり、事業目標が以下のいずれかの事項に該当するもの

- (1) 食料安全保障の強化のための対策
食料供給を脅かす様々なリスク（需給急変、サプライチェーンの混乱等）への対応、過度な輸入依存からの脱却に向けた構造転換や国内の供給力強化を実現するもの
- (2) 輸出拡大のための対策
肉用牛・酪農経営の増頭・増産を図るための生産基盤の強化、海外市場を獲得するための対策、和牛遺伝資源の適正な流通管理など、畜産物の輸出を拡大するもの
- (3) 「みどりの食料システム戦略」の取組に向けた畜産のための対策
「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律」（みどりの食料システム法）等に基づき、「みどりの食料システム戦略」の実現に向け、畜産分野における新技術の開発や環境負担軽減の取組（温室効果ガス排出削減、化学農薬・化学肥料の使用量削減）を実施するもの
- (4) 収益性の高い畜産経営体の育成のための対策
新技術の実装の推進による生産性向上、新たな畜舎建築基準等の普及等によるコスト削減の取組等、収益性の高い経営体を増加させるもの
- (5) 畜産経営を支える労働力や次世代の人材の確保のための対策
多様な人材の確保・育成、就農・雇用促進等の担い手や労働力を確保するもの又は、労働負担の軽減を図るもの
- (6) 家畜排せつ物の適正な管理のための対策
環境規制への適切な対応や地域環境の保全・改善、GHG 排出量の低減するもの

の

(7) 需要に応じた畜産物の生産・供給のための対策

多様化する消費者ニーズへ対応した家畜・家きんの改良や畜産物の生産・流通の実現、アニマルウェルフェアに配慮した飼養管理の普及・推進するもの

(8) 重要な家畜疾病（口蹄疫、鳥インフルエンザ、豚熱、アフリカ豚熱、馬インフルエンザ等の監視伝染病（家畜伝染病））の防疫関連のための対策

重要な家畜疾病の国内での発生予防・まん延防止のために必要な対策

(9) 激甚災害（東日本大震災においては東京電力福島第一原子力発電所事故を含む。）による被災地の畜産振興に向けた畜産関連復興のための対策

激甚災害やそれに伴う風評被害等が発生した場合に、国及び被災した地方自治体を実施する畜産関連復興対策を補完するもの

（注）国及び被災した地方自治体を実施する畜産関連復興対策を補完するもので、特に、必要性が高く、目的、手段及び効果が明確なものとしします。

イ）研究開発

研究成果を公益の用に供することを認め、畜産の現場への普及を前提とした新規性及び先導性のある技術の研究開発を行うもの

ウ）その他

上記のア及びイに該当しないもの